

令和5年シラス曳網調査結果 (第14報)

令和5年12月4日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

11月30日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深10m)、141-05E(水深31m)
141-10E(水深38m)、141-15E(水深54m)

3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

14.9°C~16.8°C

(2)シラス採捕数(図1)

1定点あたり0~312尾(合計679尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(11月16日、68~189尾、合計594尾)と比較し、増加しました。

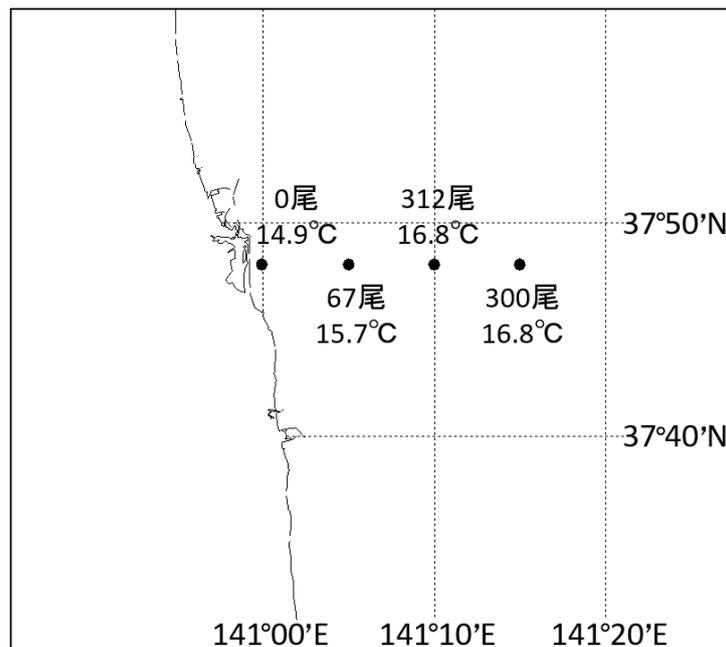


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：7.9~27.0mm(モード：14.0~16.0mm)

15mm前後の群のシラスで構成されていました。

141-05Eでは15mm前後、20mm前後の2つの群、141-10E、141-15Eでは15mm前後の群のシラスで構成されていました。

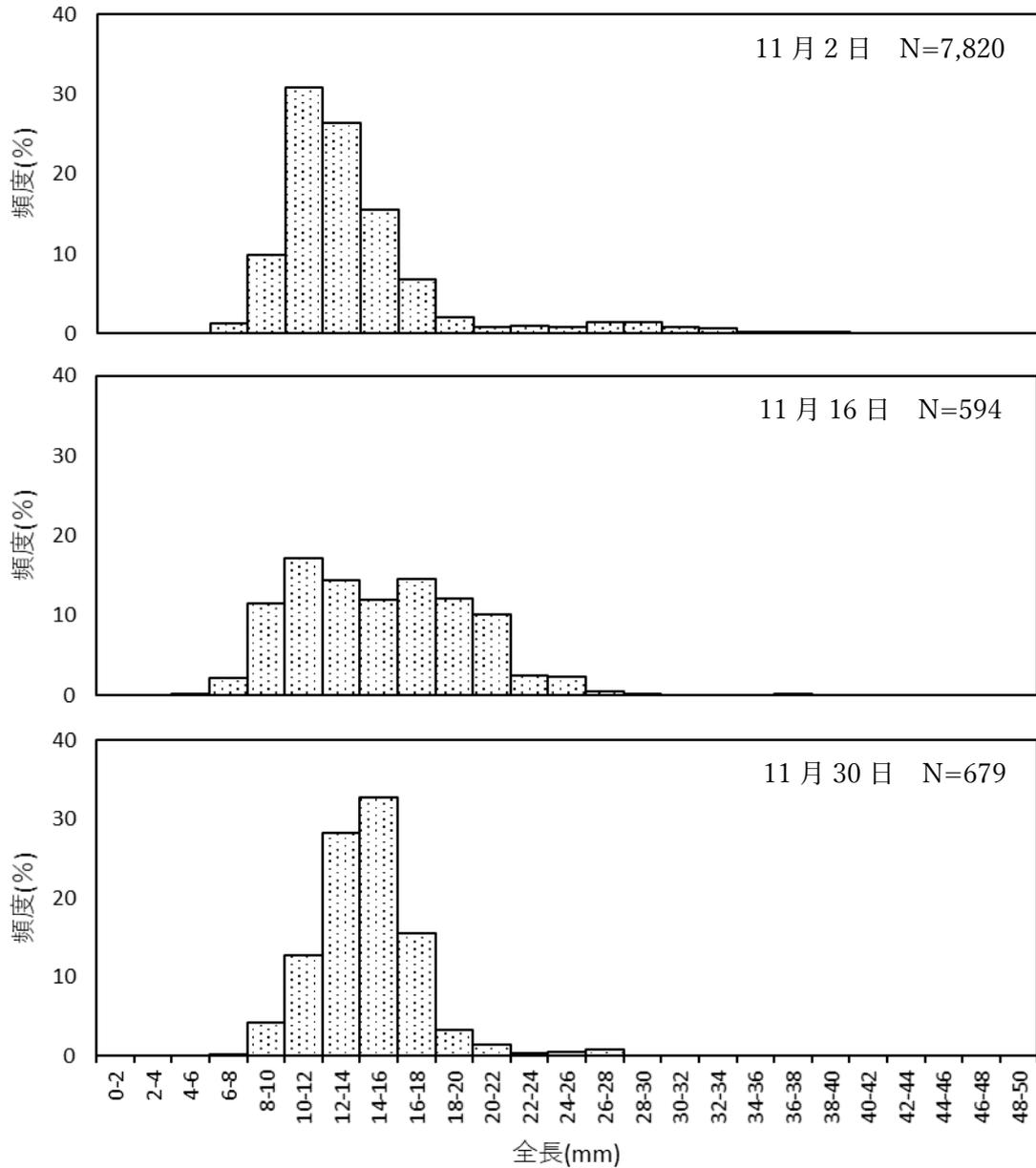


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和5年11月のシラス採捕数は平成18年以降で最も多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

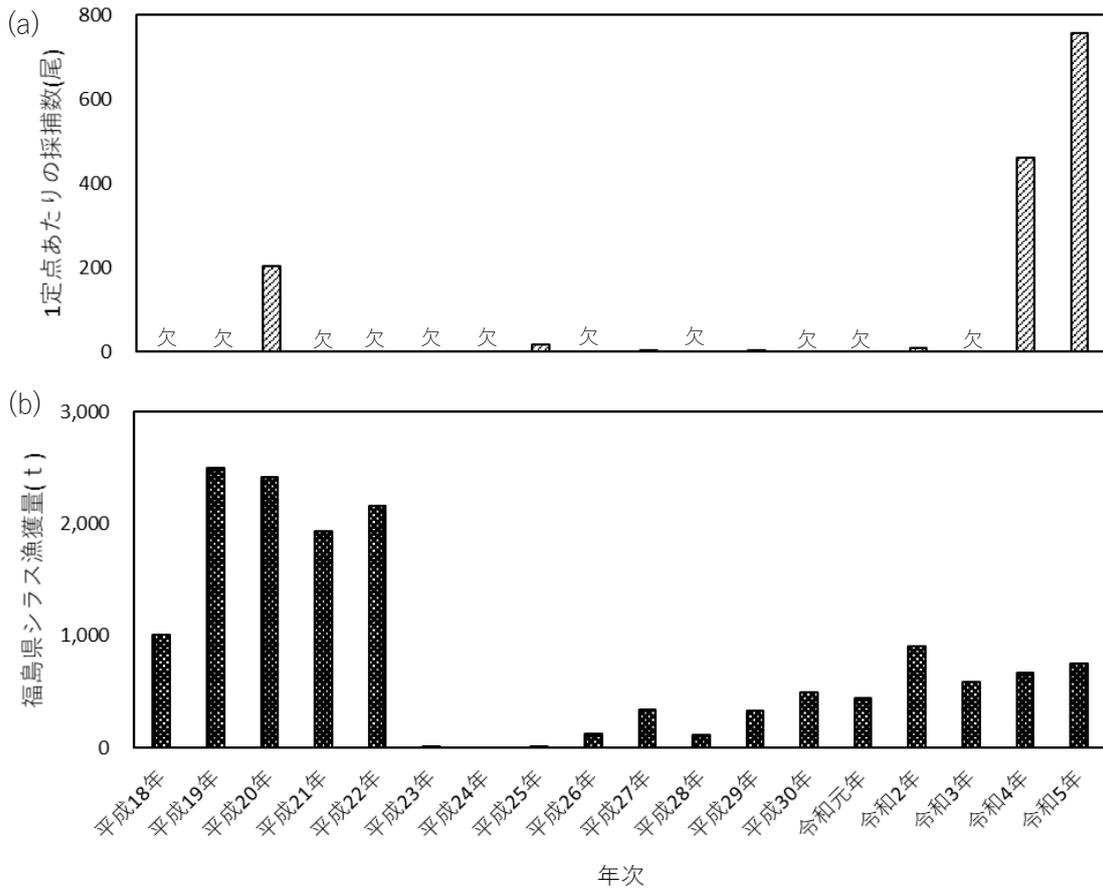


図3 (a)相馬海域における11月の1定点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量(10月末現在)